

オーアイテック(株)

北 勢田地区にあるオーアイテック株式会社は、平成19年に大阪で創業。常温で金属に圧力を加え、部品を成形する冷間圧造の技術を用いて、ボルトやナットの製造を行っています。

創業以来、難形状やアルミなどの難加工素材の加工にチャレンジすることで業績を伸ばしてきました。平成30年1月、工場の集約化に伴い、

紀の川市に移転。自動車関連部品を中心に、タイヤの空気圧センサーやシートベルトなど、自動車の安全上、極めて重要な役割を果たす各部の部品を製造しています。

安全の要となる部品を作るために欠かせないのは、徹底した品質管理。常務取締役の岡井健さん(38)は「人の命にかかわる部品のため、不良品ゼロを目標に、社内では特に厳しく

チェックを行っています」と話します。多い時には、月1,500万個以上の部品を製造しているオーアイテックでは、ランダムに製品を抜き取って寸法検査を行う品質管理部門とは別に、製造部門に検査グループを設置。重要部品は機械による寸法や傷のチェックに加え、11人の女性検査員の目視による外観検査で、製造した製品をすべて検査し、微細な不具合も見逃しません。

また、安全なモノづくりのために、は工程の管理も重要です。製造部生産管理課の平山和樹さん(25)は、品質の高いモノづくりに携わる仕事したいと1年半前に入社。コーティング処理を外注業者に依頼したり、納期に間に合うように社内外の工程を調整する業務を行っています。部ごとに生産計画を立てて製造を行っていきませんが、急な追加発注などで、計画の立て直しが必要になることも。そんな時、



1 平山さんは「スケジュールを調整し、顧客要望に最大限応えられると、本当に嬉しいです」と話してくれました。2,3 冷間圧造のほか、切削加工やネジ加工などを取り入れた生産ライン。



オーアイテック(株) 常務取締役 岡井 健さん

▼外注業者に部品の出荷を行う平山さん。



各部署のリーダーや外注先の担当者 と連携を取りながら納期に間に合うようにスケジュールを組み直していきます。調整には、部署を越えた様々な人とのコミュニケーションが不可欠。平山さんは「入社初日から、部署の垣根を越えて、社員のみなさんがあたたかく迎え入れてくれたんです」と話します。休み時間には敷地内でキャッチボールやゴルフの練習をしたり、年1回、貸切りバスで社員旅行をするなど、部署が違っても、社員同士の活発な交流が自然と行われています。

ものづくりは人づくり
人づくりは夢づくり

オーアイテックでは、アットホームな雰囲気の中で、さらなる品質向上を目指し、社員一丸となって新たな夢へと挑み続けます。



オーアイテック(株)の
ホームページはこちら